



編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2017年 春号

Vol.26

ほっとタイムズ

ドクター紹介 透析センター長兼腎臓内科 小林 弘明

腎臓内科 堀越 亮子

各科各部紹介 第12回 臨床試験推進センター・臨床研究管理センター

トピックス 平成29年度辞令交付式を挙行了しました
PCUでひなまつり会が開かれました！



病院長メッセージ「標準医療は最善の医療である」

4月から看護局へ新しいスタッフ19名が仲間入りしました。

病気を知ろうQ&A

いまだきの子育て(母乳育児について)

—第9回—

「標準医療は最善の医療である」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター
病院長 吉川 裕之



医師は手術や検査の前などに、患者さまに治療内容をご説明し、納得していただいた後、文書で同意をいただくことがあります。その際、標準医療についてご説明するとともに、そのことが記載してあるガイドラインについてもご説明することがあります。ご説明を受ける際は、患者さまにはぜひ「標準」という言葉にご注意いただきたいと思います。といいますのも、日本では「標準」という言葉を平均的や並みという意味で使うことが多くあるため、標準医療の「標準」という言葉の意味を誤解される方が少なくありません。

標準医療で使う「標準」はあくまで英語の“standard (標準、規範、基準など)”の翻訳語であり、日本で使われがちな「標準＝平均的、並」という意味では使われておりません。よって、標準医療＝平均的医療ではないのです。つまり標準医療とは「規範となる医療」「最良の医療」「最適の医療」「チャンピオン医療」を意味しているものであり、有効性、安全性において最も確立した最善の治療を指しているのです。

この標準医療という言葉の意味を十分理解していただかないとさまざまな誤解を生じる原因となりますので、この際にぜひとも標準医療の正しい意味をご理解いただければと思います。また同様に、先進的治療と聞くと、きわめて優れた医療と思われるかもしれませんが、多くは

実験的治療であって、確立はしていないのです。

ただし、実際の医療現場では標準医療に従わない方がよい場合もあります。その場合、医師は患者さまに標準医療に従わない理由を説明し、納得・同意してもらうことが必要です。離島などにおいては、遠くに搬送するより、標準医療ではないが自分の所でベストの医療を行う方が望ましい場合も十分にあり得ます。その際は患者さまに納得・同意していただいた上で、患者さまの自己決定権に基づき、医療を行うこととなります。しかし、医師が間違った説明を行った場合、患者さまが納得・同意されたとしても、その同意は無効になります。

重要なのは正しい説明を行い、患者さまが納得・同意して下さった上での自己決定であれば、医師は標準医療とは違う医療を行ってもよいのです。その場合、むしろより適切な医療を患者さまに行うことができる場合もあるので



いまだきの子育て (母乳育児について)

病気を知ろう

Q&A

Q：おっぱいは、どんなふうにあげればいいのですか？

A：赤ちゃんが欲しがるときに欲しがるだけあげましょう。片方のおっぱいは赤ちゃんが離すまで続けます。最後の方にでるおっぱいは後乳といってカロリーが高く満腹になるので、それが飲めるように左右をこまめにかえない方がいいのですよ。



Q：おっぱい以外のもの(白湯、果汁、麦茶など)はあげた方がいいですか？

A：生まれてから6ヶ月間は、赤ちゃんは母乳だけで育ちます(WHO、UNICEF)。母乳の88%が水分なので、水分補給にも白湯ではなく母乳で大丈夫です。母乳より栄養の少ない麦茶や果汁は、母乳を飲む量が減る可能性もあるので、6ヶ月まで必要ありません。

Q：母乳はいつまであげてもいいのですか？

A：赤ちゃんとお母さんが望む限り母乳育児を続けていいですよ。生後6ヶ月以上になると、補完食(離乳食)を食べることが必要ですが、補完食は母乳の栄養を補い完全にするものですので、母乳育児は続けましょう。最適な栄養法は、生後6ヶ月間は完全に母乳だけで育て、その後、適切な補完食を与えながら2歳かそれ以上まで母乳育児を続けることと定義されています(乳幼児の栄養に関するイノチェンティ宣言)。

Q：仕事復帰したあとも母乳育児をつづけるにはどうしたらよいですか？

A：少しの工夫と練習で仕事に復帰したあとも母乳育児を続けることができます。赤ちゃんに離れている間にしぼった母乳を、次の日に赤ちゃんに飲ませてもらいましょう。搾乳を続ければ母乳は出続けますし、乳房の張りすぎも避けられます。職場での搾乳できる場所や保育園などでの搾乳保存の方法なども復職前に確認するといいいですね。

Q：赤ちゃんが泣き疲れておっぱいを飲んでくれません。どうすればいいですか？

A：赤ちゃんがお腹を空かせて泣いている場合、“泣く”という行動は空腹を訴える最終段階のサインだと言われています。泣いている赤ちゃんは、なだめてから授乳をしましょう。赤ちゃんからの早めの空腹のサインに気づいておっぱいをあげると機嫌が安定し、穏やかな母乳育児ができます。赤ちゃんの空腹のサインには、目を開ける、口をあけて舌をだし乳房を探すように首を動かす、やさしくささやくような声を出す、手や毛布など口に触れるものを吸ったりしゃぶったりする等があります。



産婦人科部長(周産期医療担当)

安部加奈子 先生
が答えました



ひと言

母乳育児のやり方も時代とともに変わってきています。おばあちゃん世代の常識とお母さん世代の常識がちがっていることも多いので、赤ちゃんが生まれたら、家族みんなでいまだきの子育てを学んでいけるといいですね。今は、生まれてすぐの母児同室や、制限をしない赤ちゃん主導の授乳が推奨されています。母乳育児は「本能」や「反射」でするものではなく「学んで覚える技術」ですので、専門家の適切な支援を受けて少し練習をすれば、だれでも母乳はたくさん出るようになりますよ。お母さんの楽しい快適なおっぱいライフをサポートします。

ドクター紹介



透析センター長兼
腎臓内科部長

小林 弘明

当院勤務9年目の透析医療医です。透析医療を手掛けて30年余になります。当院では思い描いていた理想の透析医療を患者様に提供でき満足しています。長時間透析、深夜オーバーナイト透析、在宅血液透析と進めてまいりましたが、思っていた通り「十分な透析を行えば、患者様はこれだけ元気で合併症もなく、生命予後（健康寿命）もいいんだ!」ということを日々検証しています。

シャントPTAも数千件行ってきましたが、来年早々、下肢の動脈石灰化病変にロータブレードが保険適応となりますので透析患者様の下肢血流改善治療も提供できるよう努めてまいります。



腎臓内科部長

堀越 亮子

2009年から当院で腎臓内科医として勤務しています。現在は、主に透析業務と外来診療に携わっており、その他にシャント狭窄の経皮的バルーン拡張術や、腎炎の診断目的に腎組織を採取する腎生検なども行っています。

慢性腎臓病の治療は、透析加療はもちろんのこと、通常の外来診療でも長い経過をたどることがほとんどです。また、服薬管理だけではなく、生活習慣が大きく関わってくるため、通院される方の生活背景まで考えながら、日々の診療を行えるように心がけていたいと思っています。

各科各部紹介 第12回

臨床試験推進センター・臨床研究管理センター

本館の1Fにピンポン🏓が付いているドアがあるのをご存知でしょうか？その部屋こそが乙女の集まり、いわゆる「治験管理室」です。治験・研究と言うと人体実験でしょ？とよく言われますが、切り刻んだり毒薬を盛るなどの実験は決して実施しません。医療に欠かせない薬や機器類の開発のお手伝いを厳重な法律に縛られながら実施している部門です。現在使用している医薬品・医療機器は全て先人の協力があって世に出してきました。

私ども治験コーディネーター・研究コーディネーターは協力してくださる患者さんの為に、安全安楽に、そして確実に治験や研究が実施されるようにお手伝いしております。

研究の倫理審査の事務局も兼任しておりますので、お気軽にご相談ください。



4月3日(月) 平成29年度辞令交付式を挙行了しました

新年度を迎え、当院にも多くの新入職員が加わりました。辞令交付式では新入職員ひとりひとりの名前が呼ばれ、代表者に辞令が手渡されたのち、吉川病院長より「私たちは、患者さまに優しく、質の高い、県民に信頼される標準医療を提供しています。標準医療とは有効性、安全性が確立された最善の医療を意味します。さらに、皆様には断らない救急医療を実践することを期待しています。」と激励の言葉がおくられました。やや緊張ぎみの新入職員たちでしたが、晴れやかでやる気みなぎる横顔を垣間見て、とても頼もしく感じました。

今後も皆様に愛され、信頼される地域の中核病院として、より質の高い医療を提供できるよう職員一同努力してまいります。



PCUでひなまつり会が開かれました!

入院中の患者さまにも季節の行事を楽しんでいただこうと3月2日にPCUでひなまつり会が開かれました。ボランティアの方々からのあたたかいおもてなしにより甘酒やお菓子がふるまわれました。そこへお内裏様とお雛様の衣装でおめかしした、緩和ケア内科の三橋先生と西野看護師長がサプライズで登場すると皆さんびっくり!「わー♡」という歓声と拍手に顔を赤らめるお内裏様とお雛様でした。

ひなまつり会ではスタッフによるオカリナ演奏や皆さんと「うれしいひなまつり」等の合唱、そして、スタッフによるリコーダー演奏を楽しみました。業務の合間をぬって準備や練習を重ねてきたスタッフたちも参加して下さった皆さんのうれしそうな笑顔を見て、ほっと一安心したようでした。今後も皆さんにその時々季節感を楽しんでいただけるようなイベントを開催していきたいと思います。



平成29年5月23日(火)～29日(月)の平日の5日間、看護週間として認定看護師による個別相談会を開催します！昨年もお越しになった方より「悩みや不安を聞いてもらい安心した」等のお声も頂き、大好評だった相談会。専門的な知識をもつ看護師が、日頃の不安や疑問にお答えしますので、ぜひお越しください。参加費・事前申込は不要です。

【日 時】平成29年5月23日(火)～29日(月)平日のみ 10:00～11:00

【場 所】茨城県立中央病院1階 外来ホール

開催日	看護師の認定領域	相談内容例
5/23(火)	緩和ケア 救急看護	緩和ケア病棟ってどんなところ？ 救急外来は夜中でも診てくれるの？
5/24(水)	皮膚・排泄ケア 手術看護	失禁・尿トラブル…どうしよう 手術をするのに必要なものは何？
5/25(木)	認知症看護 糖尿病看護	最近忘れやすい…認知症かな？ 糖尿病ってどんな病気？
5/26(金)	乳がん看護 感染管理	乳がんとうまく付き合う方法 感染症を予防できる手の洗い方
5/29(月)	がん化学療法看護 手術看護	化学療法ってどんなことするの？ 体験できる手術後ケア“フットマッサージ”



昨年の相談会の様子

ご意見箱から

- 私は週三回透析に通うものですが、中央エレベーターの前にゴミ回収台車が止まっており、邪魔で乗り降りに苦労しました。また、レストラン出口横のトイレの前の自動販売機の所にもとまっていて同じように邪魔でした。
- 当院の清掃業務は協力会社に委託しております。ご指摘の件は早速、清掃会社担当者に報告し、ゴミ回収車の置き場など患者様の迷惑にならないように指導致しました。貴重なご意見ありがとうございました。
- スタッフ一同の温かい励まし、アドバイスなどをいただき勇気づけられ、大きな力となって元気に退院することができました。厚く御礼申し上げます。
- この度はお褒めのお言葉をいただきありがとうございました。患者様からのお褒めの言葉が職員の励みとなります。今後もこのお言葉に甘んずることなく業務を遂行してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

非常勤職員の募集

- ・ 職 種 調剤補助
- ・ 募集人員 1名
- ・ 雇用期間 採用から6ヶ月
契約更新有り(条件有り)
更新後の期間満了は平成30年3月31日まで
- ・ 資 格 特になし
- ・ 賃 金 日給6,450円(院内保育所利用可)
- ・ 勤務時間 原則8:30～17:15(週38時間45分勤務)

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先: 事務局総務課 鈴木

☎0296-77-1121(内線2741)

- ・ 職 種 医師事務作業補助者
(特別医療クラーク)
- ・ 募集人員 5名程度
- ・ 雇用期間 採用から平成30年3月31日
契約更新有り(条件有り)
- ・ 業務内容 電子カルテ代行入力、診断書、サマリー等文書作成、各種統計資料整理・作成
- ・ 必要経験 医事業務の経験等があることが望ましいが、未経験者でも可能
- ・ 賃 金 時給1,155円、他に賞与有り
(院内保育所利用可)
- ・ 勤務時間 原則8:30～17:15の間で
1日6～8時間(週29時間勤務)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>